

那賀高生、県有林で実習 入山式に18人

那賀高校(那賀町)森林「ス那賀」で本年度の入山式クリエイト科が14日、林業実習を行う同町和食郷の県有林「フォレストキャンパス那賀」で本年度の入山式を行った。1年生が対象で今年は18人が参加した。川西和男教頭が「実習を



講師(左端)から実習林で説明を受ける那賀高の1年生＝那賀町和食郷の「フォレストキャンパス那賀」

通して林業に関する深い知識と技術、そして安全に対する高い意識をしっかりと身に付けてほしい」とあいさつ。生徒を代表して湯浅瑠唯さん(15)が「次代の林業界を担う人材を目指し、精いっぱい挑戦していく」と決意を述べた。

洪水を防いだり二酸化炭素を吸収したりする役割があることを学んだ。

式の後、スギやヒノキなどが植えられた実習林に入り、木の生育状況などの見学も行った。(青木忍)

県南部総合県民局の職員による講義もあり、面積の95%が森林の那賀町では樹種の約70%がスギであることや、森林には土砂崩れや